

SDS 製品情報シート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : 超音波洗浄器用 中性洗浄剤 SDNU-N4
製品コード : 2-998-02
会社名 : アズワン株式会社
住所 : 大阪市西区江戸堀 2-1-27
担当部門 : 品質保証部エビデンス管理グループ
電話番号 : 06-6447-8614
FAX番号 : 06-6447-8664
緊急連絡先 : 06-6447-8614
推奨用途 : 洗浄剤
整理番号 :

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的危険性	: 引火性液体	区分に該当しない
健康有害性	: 皮膚腐食性／刺激性	区分 2
	: 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A
	: 特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3(麻酔作用)
	: 特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3(気道刺激性)
	: 特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 1
環境有害性	: 水生環境有害性 短期 (急性)	区分 3

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 皮膚刺激 (H315)
強い眼刺激 (H319)
呼吸器への刺激のおそれ (H335)
眠気又はめまいのおそれ (H336)
臓器の障害 (中枢神経系、血液系、腎臓) (H370)
水生生物に有害 (H402)

注意書き

[安全対策] : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
取り扱い後はよく洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

- [応急措置] : 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。(P302+P352)
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。(P308+P311)
気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断／手当てを受けること。(P332+P313)
眼の刺激が続く場合: 医師の診断／手当てを受けること。(P337+P313)
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)
飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P301+P312)
- [保管] : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)
施錠して保管すること。(P405)
- [廃棄] : 内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名称	濃度	CAS 番号
非イオン界面活性化合物	非公開	非公開
ほう素化合物	1.5%	非公開
エチレングリコール	30%	107-21-1
グリコール系溶剤	非公開	非公開
水	非公開	7732-18-5

官報公示整理番号 : 全成分が化審法・安衛法に登録されているか、既存化学物質として扱われる。
(化審法・安衛法)

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断／手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石けんで洗うこと。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
皮膚刺激または発しんが生じた場合: 医師の診断／手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。
中毒の危険より肺損傷の危険が高まるため、無理に吐かせない。
- 応急措置をする者の保護 : 適切な保護衣、手袋、眼または顔面用保護具を着用する。
- 医師に対する特別注意事項 : 情報なし。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 乾燥化学粉末、耐アルコール泡、二酸化炭素(CO2)、水噴霧、砂、土
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし。
- 火災危険性 : 情報なし。
- 特有の消火方法 : 周囲の火災に適した消火剤を使用する。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
適当な距離から注意して消火すること。
風上から近づく。
水噴霧や霧水で熱にさらされた容器を冷却する。
可能であれば火から遠ざけ、不必要な危険を避ける。
- 消火を行う者の保護 : 適切な保護衣、手袋、眼または顔面用保護具を着用する。
火災の煙、または、分解生成物の蒸気を吸い込まない。
適切な呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 : 適切な保護具を着用して作業する。
ガス、フューム、蒸気や噴霧を吸入しない。
十分な換気を行う。
風上から近づく。
こぼれた場合、床が滑りやすくなることがある。
- 環境に対する注意事項 : 排水溝や河川に流さない。
水中生物に対して有害である。
- 封じ込め及び浄化方法及び機材 : 不活性吸収剤(砂、おがくず、ユニバーサル結合材、シリカゲル等)で吸収する。
吸収した物質は、密封容器に回収する。
大規模の場合：大規模漏出は、砂や土で封じ込める。
大量に漏出した場合はポンプや吸引機を使って回収する。
- 二次災害の防止策 : 漏出物質により滑る危険がある。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 暴露のリスクのあるすべての場所の近くに、救急用の眼をすすぐ器具と安全用のシャワーを設置する。
- 安全取扱注意事項 : 皮膚、眼との接触を避ける。
適切な保護衣、手袋、眼または顔面用保護具を着用する。
製品取扱い後には必ず手を洗う。
屋外または換気の良い場所で作業する。
ガス、フューム、蒸気や噴霧を吸入しない。
本製品を使用する場所で、飲食・喫煙は行わない。

保管

- 安全な保管条件 : 密閉容器に保管すること。
施錠して保管すること。
直射日光や高温を避けて保管すること。
- 安全な容器包装材料 : 情報なし。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 :

エチレングリコール (107-21-1)	
ACGIH TWA (mg/m ³)	10 mg/m ³ ミスト
ACGIH TWA (ppm)	25 ppm (vapor fraction)
ACGIH STEL (mg/m ³)	10 mg/m ³ (inhalable particulate matter, aerosol only)
ACGIH STEL (ppm)	50 ppm (vapor fraction)
ACGIH 上限 (mg/m ³)	100 mg/m ³ エアゾール

設備対策 : 暴露のリスクのあるすべての場所の近くに、救急用の眼をすすぐ器具と安全用のシャワーを設置する。
 適切な換気装置を使用する。
 呼吸用保護具 : 適切なマスクを着用する。
 手の保護具 : 適切な保護手袋
 眼の保護具 : 化学用ゴーグルまたは安全眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 : 長袖防護服

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 淡青色透明液状
 臭い : 微臭
 pH : 約 8 (原液)
 融点 / 凝固点 : データなし
 粘度(粘性率) : データなし
 沸点 : 約 100 °C
 引火点 : なし
 分解温度 : データなし
 蒸気圧 : データなし
 相対蒸気密度 (20 °C) : データなし
 比重(密度) : 約 1.06 g/ml (20 °C)
 溶解度 : 水 / 任意に溶解する
 n-オクタノール / 水分配係数(Log Pow) : データなし
 爆発範囲 (上限、下限) (g/m³) : データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 通常の条件下では安定。
 危険有害反応可能性 : 情報なし。
 避けるべき条件 : 情報なし
 混触禁止物質 : 情報なし
 危険有害な分解生成物 : 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 情報なし
急性毒性 (経皮)	: 情報なし
皮膚腐食性／刺激性	: 皮膚刺激。 構成成分に基づいて推定
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 強い眼刺激 構成成分に基づいて推定
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 臓器の障害 エチルグリコール (中枢神経系, 血液系, 腎臓) (NITE 分類) 眠気又はめまいのおそれ エチルグリコール (麻酔作用) (NITE 分類) 呼吸器への刺激のおそれ エチルグリコール (気道刺激性) (NITE 分類)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 情報なし
誤えん有害性	: 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性(LC50)	: 32 mg/l (ヒメダカ/96 時間、 OECD TG203 準拠)
残留性・分解性	
生化学的酸素要求量(BOD)	: 169 mg/l (ケ-ロメーター法、 0.1%水溶液)
化学的酸素要求量(COD)	: 170 mg/l (JIS K-0102 準拠、 0.1%水溶液)
残留性・分解性	: 情報なし
生分解性	: データなし (OECD 302B 準拠)
生体蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていない。

13. 廃棄上の注意

内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。
都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理場にて処分する。
容器は内容物を完全に除去してから廃棄する。
環境への放出を避けること。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当せず
品名	: 該当せず
国連分類	: 該当せず
容器等級	: 該当せず
海洋汚染物質	: 該当せず

指針番号 : 該当せず

15. 適用法令

化審法	優先評価化学物質	: α -(アルキル(C=6~18))- ω -ヒドロキシポリ(オキシエタン-1,2-ジイルオキシ(メチルエタン-1,2-ジイル))(数平均分子量が 1,000 未満であるものに限る。) α, α' -(アルキル(C=8~18、直鎖型)アザンジイル)ジ(エタン-2,1-ジイル)ビス[ω -ヒドロキシポリ(オキシエタン-1,2-ジイル)](繰り返し単位の繰り返し数は 0 以上の整数とする。)(数平均分子量が 1,000 未満のものに限る。) エチレングリコール フロハソー 1,2-ジオール
労働安全衛生法	監視化学物質	: 該当せず
	危険物	: 該当せず
	有機則	: 該当せず
	特化則	: 該当せず
	表示対象物	: エチレングリコール
	通知対象物	: エチレングリコール (30%含有)
毒物及び劇物取締法		: 該当せず
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)		: 該当せず
消防法		: 該当せず
船舶安全法		: 該当せず
航空法		: 該当せず
海洋汚染防止法	ばら積み輸送	: 供給された状態の製品には不適用
	個品輸送	: 該当せず

16. その他の情報

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

この SDS は、JIS Z 7252:2019 (GHS に基づく化学品の分類方法) に従って分類し、JIS Z 7253:2019 (GHS に基づく化学品の危険有害情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)) の要件に準拠しています。